

＝特別版＝  
花と緑の情報 掲示板

令和2年度  
はなみどり

写真コンテスト

作品募集

受付期間

令和2年11月20日(金)～  
令和3年1月15日(金)必着  
※令和2年1月以降に撮影された作品をご応募ください

応募資格

〔一般の部〕プロ・アマを問いません  
〔学生の部〕学生(小学生以上)のみ応募可能

花いっぱい  
緑化活動部門を今年度から新設しました!

より多くの方に、様々な形でこのコンテストに参加していただけるよう、この部門を新設しました。ぜひご応募ください!

新潟県内にある県立公園等で行われる  
様々なイベントを紹介します。

※各公園等で実施される教室等のイベント詳細については、今後、緊急に変更・中止等になる可能性がありますので、今号には掲載いたしません。それぞれの公園等のホームページでご確認ください。

都市公園

【新潟県立紫雲寺記念公園】

〒957-0231 新潟県市藤塚浜299 TEL:0254-41-3740 FAX:0254-41-3774  
指定管理者:紫雲寺記念公園プロモーションパートナー



【新潟県立島見緑地・聖籠緑地】

県立島見緑地管理事務所 ※聖籠緑地に関するお問い合わせ先も共通  
〒950-3102 新潟市北区島見町山興野字山之辺2645-1  
TEL:025-255-3202 FAX:025-255-3206  
指定管理者:株式会社日建緑地



【新潟県立鳥屋野潟公園女池地区・鐘木地区】

女池地区インフォメーションセンター  
〒950-0948 新潟市中央区女池南3-1-3 TEL・FAX:025-285-1604  
鐘木地区インフォメーションセンター  
〒950-1141 新潟市中央区鐘木451  
TEL:025-284-4720 FAX:025-284-4726  
指定管理者:株式会社アル・ケー・イー



【新潟県立奥只見レクリエーション都市公園】

〒949-7302 新潟県南魚沼市浦佐5483-1  
TEL:025-780-4560 FAX:025-780-4560 指定管理者:むつみグループ



【新潟県スポーツ公園】

〒950-0933 新潟県新潟市中央区清五郎33-1  
TEL:025-286-1080 FAX:025-286-1104  
指定管理者:アルビレックス新潟・都市緑花センターグループ



【新潟県立大潟水と森公園】

〒949-3103 新潟県上越市大潟区潟町1381  
TEL:025-534-6190 FAX:025-534-6010  
指定管理者:公益財団法人新潟県都市緑花センター



【新潟県立植物園】

〒956-0845 新潟市秋葉区金津186 TEL:0250-24-6465 FAX:0250-24-6410  
指定管理者:国際総合学園・都市緑花センター グループ



その他【提携講座など】

【新潟日報カルチャースクール】 ※園芸講座の一部について、提携講座として実施

メディアシップ教室(県立植物園会場)  
〒950-8535 新潟市中央区万代3-1-1メディアシップ7階 TEL025-385-7340

三条教室  
〒955-0092 三条市須頃2-89新潟日報社三条総局内 TEL0256-33-0236

長岡教室  
〒940-0082 長岡市千歳1-3-43新潟日報社長岡社社内 TEL0258-34-9606

上越教室(大潟水と森公園会場)  
〒943-0833 上越市大町5-5-12 TEL025-523-3222



<発行>

公益財団法人 新潟県都市緑花センター

本誌に関する  
ご意見・お問い合わせは  
公益財団法人新潟県都市緑花センター  
緑化推進本部 緑化推進課

〒956-0845 新潟市秋葉区金津186 新潟県立植物園内  
TEL. 0250-24-6465 FAX. 0250-24-6410



グリーンスケッチのバックナンバーは  
緑花センターのホームページからご覧いただけます!



花と緑の情報をお届けします

2020年 秋号 No.76

グリーン・スケッチ

Green Sketch

take free  
ご自由  
にお持ちください



令和元年度はなみどり写真コンテスト 都市公園部門(一般) 新潟フジカラー賞 吉田 茂治 「5つのミクロコスモス」 撮影地/国営越後丘陵公園

TOPICS

● 読者の広場 ～表紙の写真から～  
「令和元年度はなみどり写真コンテスト」

● すぐそばにある「気になる木」  
～トチノキ～

● 花と緑の情報掲示板



キリトリ線

キリトリ線

1 本誌をどこで手に入れましたか?

市町村役場 図書館 その他( )

2 本号の中で面白かった、または印象に残った記事等はどれですか。 ※複数回答可

①表紙 ②読者の広場 ③気になる木  
④植物に親しむ ⑤花と緑の情報掲示板＝特別版＝

3 本号のご感想・ご意見をお聞かせください。

.....  
.....  
.....

4 今号のピックアップテーマ[学生の写真で一番印象的だったのはどれですか?]  
番号にマルをつけてください。 ※写真を見てのご感想などもあればご記入ください。

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫

.....  
.....  
.....

アンケートをお送りいただいた方の中から  
抽選で若干名に粗品をプレゼントいたします!

応募締切:令和2年12月25日必着

※お寄せいただいたご意見等については、趣旨等を変えませんが、若干アレンジをして、紙面に掲載させていただく場合がございますので、ご了承ください。

グリーン・スケッチ  
Green Sketch



# 読者の広場

～表紙の写真から～

今回の読者の広場では、皆様から大変多く好評を頂いております「表紙の写真」に関連した情報として「はなみどり写真コンテスト」を紹介させていただきます。

「表紙のバラに魅せられ、(グリーンスケッチを)持ち帰りました」「表紙の写真が目を引きます」「表紙の素晴らしい花に魅せられて思わず(グリーンスケッチを)手にしました」といったお声をたくさん頂いております。この表紙に「使っている写真」は、当センターで開催している「はなみどり写真コンテスト」で入賞した作品を使用しております。はなみどり写真コンテストは、“皆様に花や緑に目を向け、触れ合う機会をもってほしい”ということ、そして、“新潟県内各地にこんな素晴らしい花と緑のスポットがたくさんあるんだということを知ってもらいたい”という二つの思いを込めて毎年開催しており、今年度で通算12回目となります。毎年、数百を超えるご応募を頂き、いろいろな視点での花と緑の魅力のとらえ方に感動・感心させられています。その作品の魅力を皆様にも感じてほしいという思いから、入賞作品をグリーンスケッチの表紙に用いています。今回は、そんなたくさんの作品の中から「令和元年度の学生の入賞作品」を紹介します。一般の部の入賞作品とは一味違う視点での花や緑のとらえ方をぜひご覧ください。

## はなみどり 写真コンテスト

＼ 令和元年度 ／

### まちなかの 緑花部門 学生の部

### 都市公園 部門 学生の部

①新潟県知事賞  
「これから」小片彩香

②都市緑花センター理事長賞  
「木洩れ日」田村優衣

③新潟フジカラー賞  
「放課後」中川瑛美

④新潟日報社賞  
「空へ」高橋香穂

⑤入賞  
「春になれば」村山桜子

⑥入賞  
「春麗」坪谷美南

⑦新潟県知事賞  
「反射」田村優衣

⑧都市緑花センター理事長賞  
「TALK」村山桜子

⑨新潟フジカラー賞  
「ないしょばなし」中村真梧

⑩新潟日報社賞  
「一緒に」阿部秀悟

⑪入賞  
「春の色」川島愛加

⑫入賞  
「咲く」中川瑛美

## すぐそばにある 「気になる木」

第5回

### トチノキ

*Aesculus turbinata*

皆様の身近にある  
あの木やこの木について  
植物学的なことや人との関わり、  
利用方法、伝承など、  
いろいろなお話を紹介していく  
すぐそばにある「気になる木」。

第5回目は、公園樹として  
見かけることが多い  
「トチノキ」を紹介します。

### ～トチノキ～

トチノキ *Aesculus turbinata* は少し前までは、トチノキ科の植物とされていたのですが、最近では、カエデなどと同じ仲間の「ムクロジ科」に分類されています。(カエデが「カエデ科」でないことも驚きですが)

ムクロジ科トチノキ属の落葉広葉樹であるトチノキは、日本の固有種(世界中、日本以外に自然にはえていない種)です。北海道から九州の山地に分布し、公園樹や街路樹として植栽されています。また、トチノキの仲間であるベニバナトチノキやセイヨウトチノキ(マロニエ)なども、公園樹や街路樹として、目にする機会は多いですが、これらは海外から導入されたものでトチノキとは別種です。



トチノキ



ベニバナトチノキ



トチノキは、5月から6月ころ、枝先に、多数の花が塔のように立ち上がって咲きます。同じところに天狗の団扇のように大きく広がる葉は、涼しさや彩りを感じさせてくれます。そして、秋になると、その葉は黄葉し、モミジの仲間とは一味違った季節の演出をしてくれます。

個性的で、とても目立つ花を咲かせるトチノキですが、花の蜜は特に美味しいといわれています。さっぱりとした味の中に、渋みとうまみがバランスよく混在しているとのこと、養蜂家の中では、最もおいしいハチミツという声も少なくないということです。

種子は一見するとクリのようにも見え、すぐ食べれるものかと思ってしまうのですが、植物の中では最もあく抜きが難しいといわれています。そのため、干ばつや飢饉の際、通常の食料の代用品として緊急的に用いられ、ドングリやヒガンバナなどとともに、「救荒植物」に挙げられており、古くは、縄文時代の土器の中からも見つかっています。いまでも、トチモチなどの材料として使われています。

山野はもちろん、公園や街路を彩る身近な樹木の一つであるトチノキ。縄文のころから、私たちの食の一端を担っていた歴史をもつこの木を探しにまちや公園に出かけてみてください。

郵便はがき

おそれいますが  
63円切手をお貼りください。

9 5 6 - 0 8 4 5

新潟市秋葉区金津186 新潟県立植物園内

公益財団法人新潟県都市緑花センター  
緑化推進本部 緑化推進課行<sup>⑦⑥</sup>

ふりがな			
お名前			
〒			
ご住所			
電話番号	( ) —		
性別	男・女	職業	1.会社員 2.公務員 3.自由業 4.主婦
年齢	歳		5.大学生・短大生・専門学校生 6.5.以外の学生 7.その他( )

※ご記入いただきました個人情報等は感想等の掲載、都市緑化の普及・啓発及び今後の紙面づくりの参考としてのみ利用させていただきます。